



平成27年5月7日

各 位

会 社 名 株式会社 ハマキョウレックス
代 表 者 の 代 表 取 締 役
役 職 氏 名 社 長 大須賀 秀 徳
(コード番号 9037 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役員管理部長 山 田 力 也
兼内部統制室長
(TEL. 053-444-0055)

新中期経営計画について（新3ヵ年計画）

平成27年5月7日(木)開催の当社取締役会におきまして、更なる業績の向上を目指した新中期経営計画(平成27年4月～平成30年3月)を策定・決議いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 基本理念

- (1) 和・コミュニケーションを大切にしながら、高いコスト意識を持ち、全員参加の経営で、日本一コスト競争力のある物流会社を目指します。
- (2) お客様の物流利益の創出(≒物流コストの削減)に貢献し、お客様とともに繁栄するという心、パートナーシップを大切にまいります。
- (3) 従来 of 枠にとらわれず、常に高い目標を具体的に掲げ、従業員全員の知恵を結集してその達成を実現してまいります。

2. 事業展開方針

わが国経済は、消費税増税や為替の影響等により、国内景気の持直しの動きは勢いを欠く状況となっております。当業界におきましても、世界経済の減速懸念などを背景とした原油安により燃料の価格が下がったものの、物価上昇等による個人消費の低迷など、依然として不透明な状況が続いております。

こうした環境の中、当社は、お客様の物流費削減のニーズに応えるチャンスとして、日々変化する社会環境に応じた、高品質・最適な物流を提案し、当社の主力であります、物流センター事業（3PL事業）を中心に、更なる成長を図ってまいります。

当社において重要なキーワードであります、「日々収支」「全員参加」「コミュニケーション」の既存路線を踏襲した上で、更なる高みを目指し、挑戦を続けてまいります。

下記取組みにより平成30年3月期の連結経常利益100億円を目指してまいります。

(1) 3PL事業を軸とする事業展開

- ・既存の業種にとらわれず、全ての物流に対し積極的に取り組む
- ・現場の自社運営を基本とし、現場重視の物流を体現する
- ・お客様とのコミュニケーションを重視し、提案型物流企業をめざす
- ・アセットの保有を過度に恐れず、事業採算・リスクを勘案し、設備投資を積極的に行う
- ・見込みの投資は一切せず、センター稼働後即フル稼働を設備投資の基本姿勢とする
- ・各支社・管理部が一体となり、日々収支を確認することで、会社全体として無駄なコス

トの削減を図る

(2) 3PL事業とグループ会社の融合

- ・グループ各社の既存の業務にとらわれず、グループ内のインフラ・ノウハウを有効活用した、事業展開を図る

(3) 新規顧客獲得に向けた取組み

- ・既存の組織・職務・各関連会社にとらわれず、グループ全体での新規顧客獲得に向けた営業を行う
- ・物流センター事業での年間受託件数15社を目指す

(4) 海外戦略への取組み

- ・国内の顧客満足度を向上させるため、ニーズに応じた海外展開を図る

3. 数値計画

(単位：百万円)

	平成28年3月	平成29年3月期	平成30年3月期
	期目標	目標	目標
	連結	連結	連結
営業収益	94,000	99,000	107,000
営業利益	7,400	8,300	9,900
経常利益	7,500	8,400	10,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,000	4,500	5,300
1株当たり 当期純利益	478.9	538.7	634.5
営業収益 経常利益率	8.0%	8.5%	9.3%
設備投資額	130億円	30億円	90億円

4. セグメント別数値計画

(単位：百万円)

	平成28年3月期目標		平成29年3月期目標		平成30年3月期目標	
	センター	貨物自動車	センター	貨物自動車	センター	貨物自動車
営業収益	45,300	48,700	49,400	49,600	56,200	50,800
営業利益	5,020	2,380	5,800	2,500	7,100	2,800

以上